

周 知 文 書 等 の ご 案 内

令和 7 年 10 月 17 日

○ 医療機関専用の直通電話番号（救急ドクターライン）の周知について

標記の件につきまして、鹿児島市立病院より周知依頼がありました。

鹿児島市立病院では、令和 6 年 12 月より、地域の医療機関との連携を強化し、適切で最善の医療を提供することを目的として、医療機関専用の直通電話番号（救急ドクターライン）を設置し、運用を行っております。

上記については、これまで主に鹿児島市内を中心として周知を図ってまいりましたが、県下の中核的医療機関としての役割を果たすべきとの思いから、鹿児島県医師会とも協議させていただき、各地域の医師会へもご案内することとなりました。

出水郡医師会では、昨日の定例理事会において、ご協議頂き、会員医療機関へ周知することとなりました。

つきましては、内容をご確認頂き、お活用頂きますようお願い申し上げます。

なお、この文書及び鹿児島市立病院よりの説明文は、医師会ホームページ

(<http://www.izumigun-med.or.jp/>) の会員専用ページにも掲載しております。

会員専用ページの I D とパスワードは、 [I D : izumigun PW : 1818]

FAX 送信元：出水郡医師会 TEL63-0646 FAX62-6336

E-mail : info@izumigun-med.or.jp

救急ドクターライン（#7000）の設置について

鹿児島市立病院は、地域の医療機関と連携して、市民・県民に適切で最善の医療を提供することを使命としています。

しかし、すぐ命に関わる状態ではないが、数日来患者の病状が改善せず、苦しんでいる、あるいは診断がはっきりしない、というような患者がいた際に、市立病院に紹介したいと思っても、「電話が繋がらない」、「つながっても時間がかかる」、「診察日がいぶ先になる」などのお言葉を頂戴することがあり、現状では市立病院を選んでもらえないという状況も発生しています。

このような状況を改善し、地域の医療機関との連携をより強化するため、直通の電話番号を設置しました。

電話番号は「#7000」
（スマホからは 【直通】099-230-7118）
名称を「救急ドクターライン」と命名しました

地域の医療機関の皆さまに、より信頼され頼りにされるような医療機関を目指し取り組みを進めます。

外来診療は、主に救急科を中心に行いますが、内科系医師も協力の上、診療の過程で必要に応じ専門診療科が対応します（小児科、眼科、耳鼻咽喉科については、従来の救急対応とします）。

またこの取り組みは、現在地域医療支援病院の登録医療機関を中心にご利用いただいておりますが、鹿児島県の中核的医療機関として、県内すべての医療機関でぜひご利用いただきたいと考えております。

当院が地域医療機関の信頼を得て、地域医療連携の推進を強化することで、患者さまがより安心して生活できるまちづくりに、貴院とともに貢献できることを願います。

鹿児島市立病院長 坪内 博仁



重症やお困りの患者が紹介しやすくなりました！

救急ドクターライン 受診の流れ

連携を行う医療機関の先生方

施設間搬送が必要な
中等症・重症患者

直ちに命に関わることはないが、病状の悪化、
患者が苦しんでいる、診断がつかないなどの
理由で、迅速な対応が必要なお困りの患者

紹介

救急ドクターラインに電話 **#7000**
※スマホからは **099-230-7118**
診療情報提供書(紹介状)は Fax **099-206-5021**

紹介

報告

市立病院救命救急センター 救急・総合診療外来受診(24時間・365日対応)

救急科医師が診療、診断

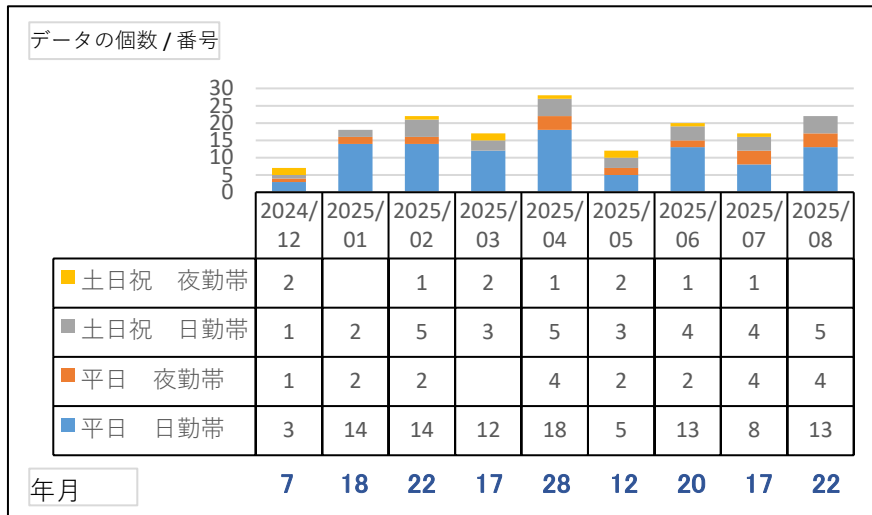
外来での治療 — 帰宅 — 登録医療機関(紹介元)

入院での治療 — 専門診療科へ依頼

* 小児科、眼科、耳鼻咽喉科については、従来どおり

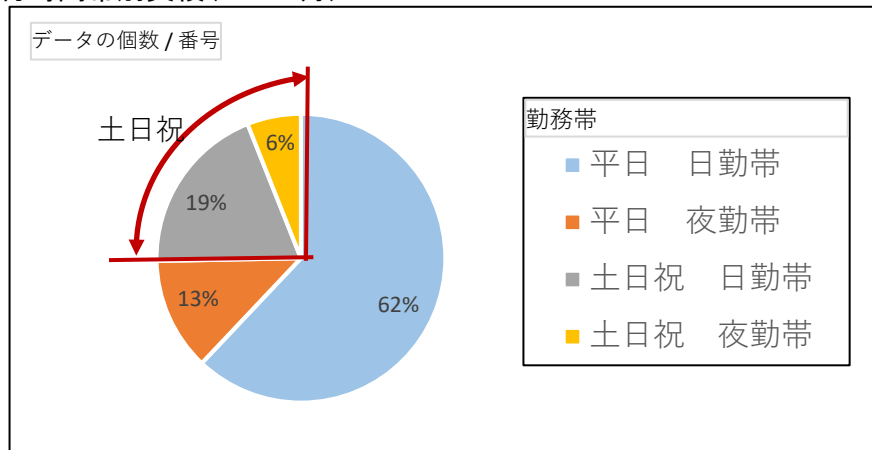
救急ドクターライン 実績

1. 月別利用実績



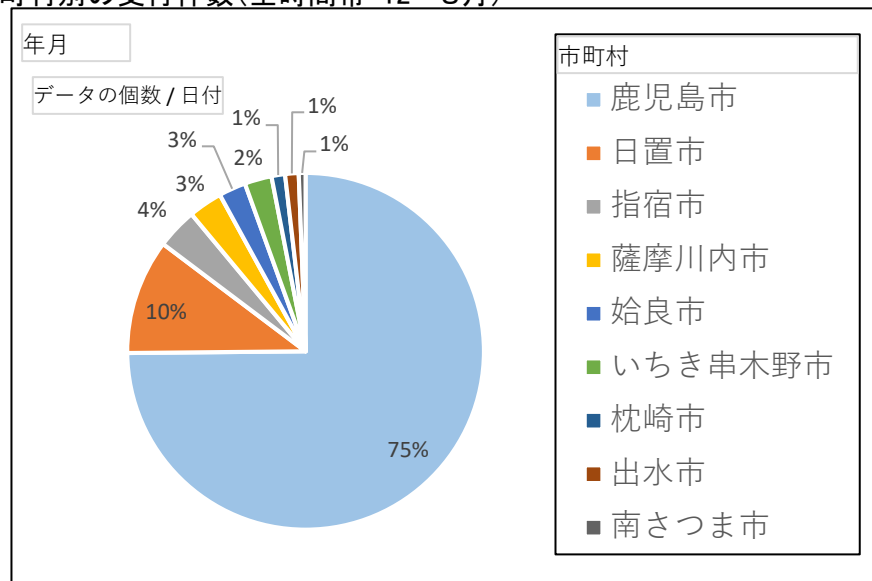
・12月の開始以降、一月あたり20件程度で推移している。

2. 受付時間帯別実績(12～8月)



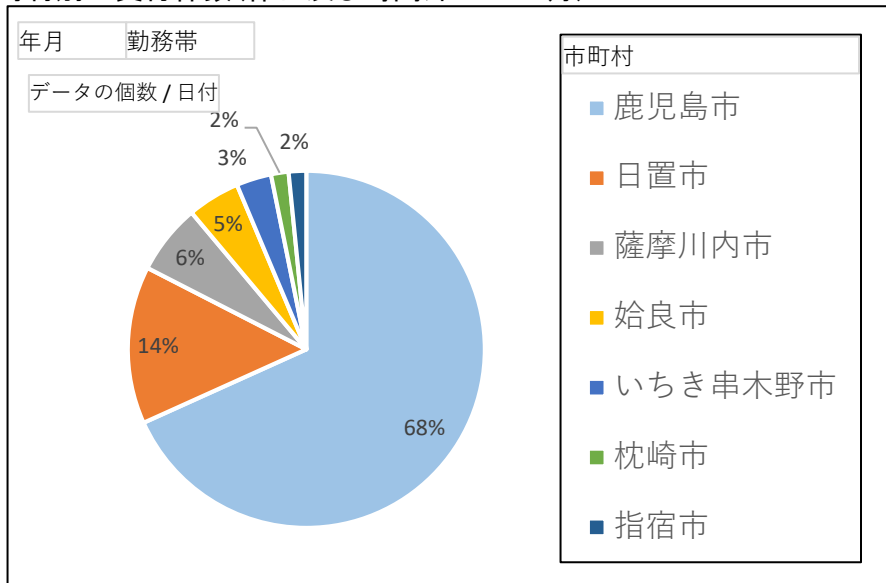
・平日日勤帯が半数以上を占めているが、土日祝が4分の1を占めている。

3. 市町村別の受付件数(全時間帯・12～8月)



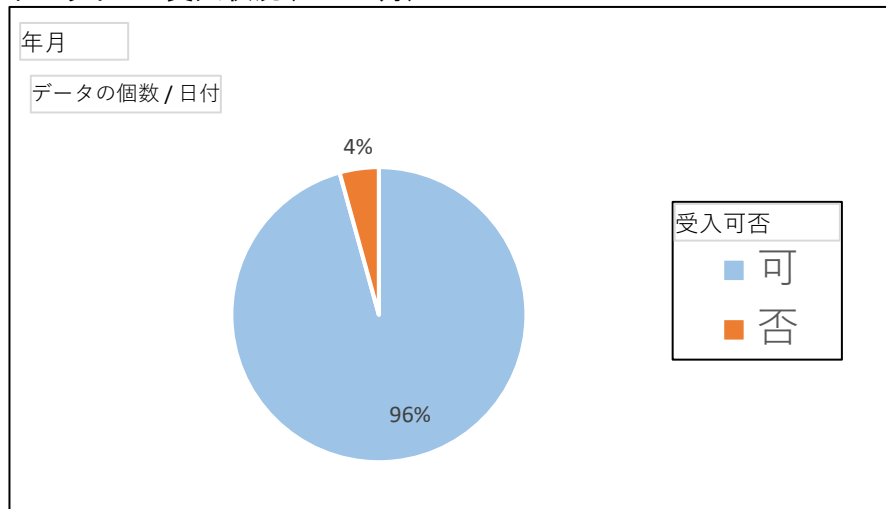
・4分の1が鹿児島市以外からの受付となっている。

4. 市町村別の受付件数(休日及び時間外・12～8月)



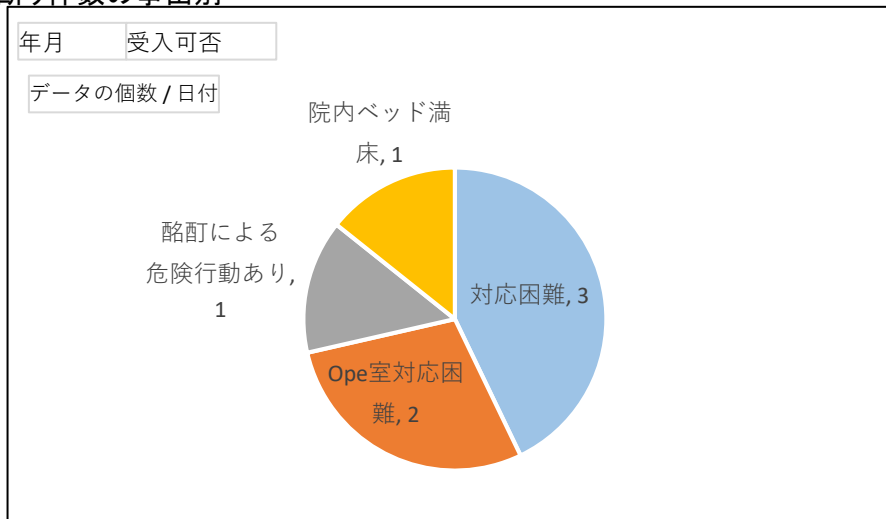
・休日及び時間外での受付は、鹿児島市外の割合が増加している。

5. ドクターラインの受入状況(12～8月)

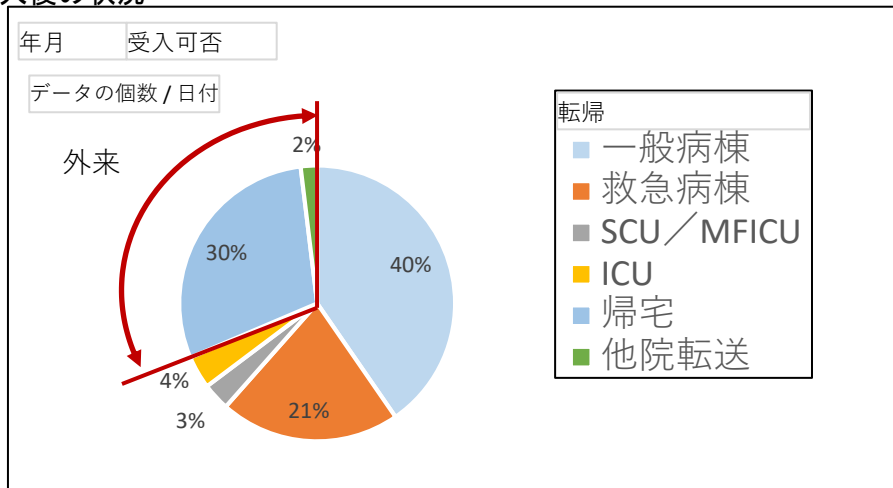


・「断らない」を目指しており、ほとんどの症例を受け入れている。

6. お断り件数の事由別

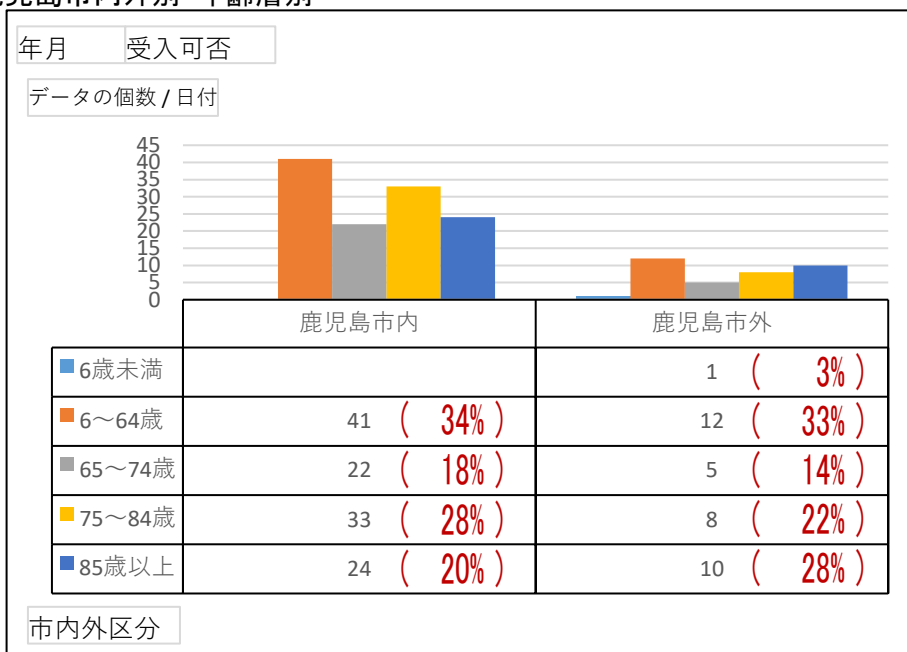


7. 受入後の状況



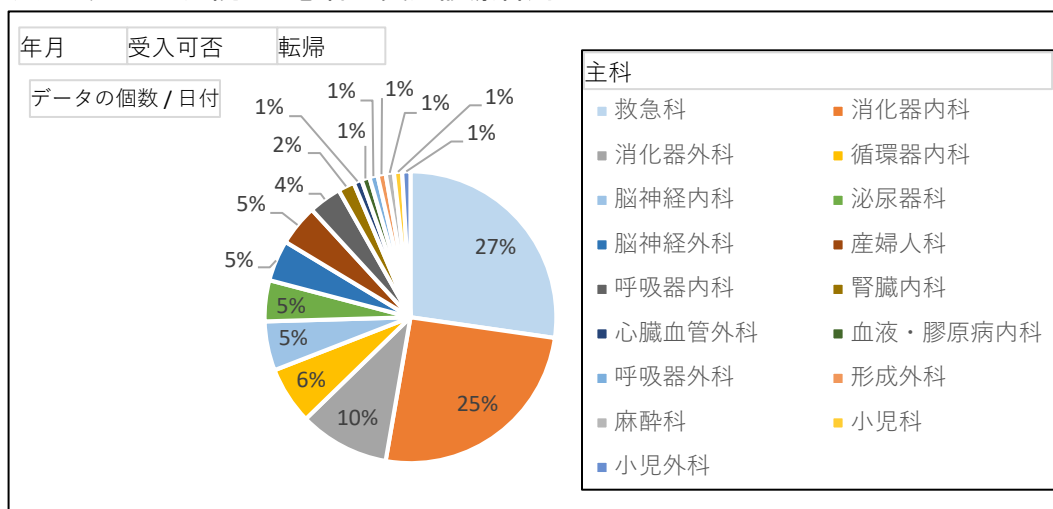
・3分の2が入院、3分の1が帰宅（外来）、トリアージ後に他院転送となっているケースもある

8. 鹿児島市内外別・年齢層別



・鹿児島市外は、特に85歳以上の割合が高くなっている。

9. ドクターラインで入院した患者の受入診療科別



・救急科、消化器内科で半数を超えているが、病院全体として様々な科で受入を行っている。